

## ■フランス：パリ市民が「オートリブ」を体験

フランス経済紙は 2011 年 9 月 30 日、12 月 1 日から正式開始する電気自動車を利用したパリのカーシェアリングシステム「オートリブ」を 10 月 2 日に市民が体験できると報じた。

「オートリブ」はパリ市内および近郊の 46 市まで利用が可能となる。フランスの電気自動車メーカーであるボロレとパリ市は、電気自動車「ブルーカー」250 台と専用駐車場（充電設備付属）75 カ所の設置を手始めに、2014 年までに 3,500 台の導入と約 1,000 カ所の専用駐車場を設けることを目指す。利用者は、契約期間（1 日間／1 週間／1 年間）によって決まる基本料金 10 ユーロ～144 ユーロ（約 1,000 円～14,400 円）と、30 分毎に加算される利用料金 4 ユーロ～8 ユーロ（約 400～800 円）を支払う。パリ市で実施されているレンタル自転車システム「ヴェリブ」と同様に、出発時とは別の駐車場に返却する「乗り捨て」も可能となる。